

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公表番号】特表2009-519917(P2009-519917A)
 【公表日】平成21年5月21日(2009.5.21)
 【年通号数】公開・登録公報2009-020
 【出願番号】特願2008-544885(P2008-544885)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 9/10 (2006.01)
 A 6 1 K 9/06 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 P 17/02 (2006.01)
 A 6 1 K 47/14 (2006.01)
 A 6 1 K 47/06 (2006.01)
 A 6 1 K 9/70 (2006.01)
 A 6 1 K 47/34 (2006.01)
 A 6 1 L 15/44 (2006.01)
 A 6 1 K 47/38 (2006.01)
 A 6 1 K 47/36 (2006.01)
 A 6 1 K 47/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/10
 A 6 1 K 9/06
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 K 47/14
 A 6 1 K 47/06
 A 6 1 K 9/70 4 0 5
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 L 15/03
 A 6 1 K 47/38
 A 6 1 K 47/36
 A 6 1 K 47/32

【手続補正書】
 【提出日】平成21年12月14日(2009.12.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0023
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0023】

本発明に関し、乳化剤は、水が親水性基剤に添加された際に多相性混合物、すなわちエマルジョンが生成し得るような界面活性を特徴とする物質であると理解される。特に、本発明の組成物は、水が添加された際に、前記親水性基剤が油中水型エマルジョン(W/Oエマルジョン)、油中ゲル型エマルジョン(G/Oエマルジョン)、水中油型エマルジョン(O/Wエマルジョン)、ゲル中油型エマルジョン(O/Gエマルジョン)、水中油中水型エマルジョン(W/O/Wエマルジョン)、ゲル中油中ゲル型エマルジョン(G/O/Gエマルジョン)、水中油中ゲル型エマルジョン(G/O/Wエマルジョン)、ゲル中

油中水型エマルジョン（W/O/Gエマルジョン）、油中水中油型エマルジョン（O/W/Oエマルジョン）、又は油中ゲル中油型エマルジョン（O/G/Oエマルジョン）を形成し得る少なくとも1種の乳化剤を含むべきである。さらに好ましくは、O/W若しくはW/Oエマルジョン又はO/G若しくはG/Oエマルジョンを形成することができ、またエチレン若しくはプロピレングリコール類又はエチレンプロピレングリコール類を含まない、即ちエチレン、プロピレン、又はエチレンプロピレングリコール単位を含むどのような物質も含まない乳化剤である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

3) 創傷接触層1

この創傷接触層は図1に示す構造を有する。従って、該創傷接触層(10)は疎水性の100%ポリエステル縦編み生地(Theodor Preuss GmbH & Co. KG、Ubstadt-Weiher-ドイツ)から形成される担体材料(1)を特徴とし、該担体材料は両側及び/又は両面が本発明の組成物2a及び2bで実施例#1と同じように被覆されている。異なるのは銀をドーブしたCMC繊維の代わりに銀をドーブした300 μ mの平均粒径を有するCMC粒子を用いたことである。従って、前記組成物は実施例#1と同様な親水性基剤(13)とCMC粒子(14)とから成り、該粒子は粒子量に対して10重量%の量の放出可能な銀イオンが充填されている。この担体材料は該組成物で完全に湿っており、各面への適用量は200g/m²である。該縦編み担体生地は63g/m²(非伸長時)の単位面積当たり質量を有し、100cm当たりおよそ40個の六角形の穴(図1に示さず)を特徴とする。該開口部の最大内側幅は2mmである。前記創傷接触層は良好な凝集を特徴とし、治療対象の創傷に特に良好に適用され得る。